

児童館廃止ストップ!!

富田たく

日本共産党 杉並区議会議員

とみた琢

多様性が認められる杉並区へ

初当選から2期8年。行政のウソとごまかしを暴き、区民福祉の向上に向けて、議員活動に取り組んできました。この間、多くの方々から貧困や生活難、ブラックな働き方などさまざまな相談を受けてきました。その多くが、政治や制度が変わればすぐに解決できるものばかりです。

みなさんのくらしを守るために、暴走極まる国政の転換と、いのちとくらし最優先の区政を実現しなければなりません。

ひとり一人の個性と人権が尊重される社会をめざし、これからも全力を尽くします。

ストップ
9条改憲・
消費税大増税

地域と子ども達のために

議会質疑22回

児童館の廃止は許さない!!

杉並区は児童館の全館廃止を計画。児童館の機能は小学校内の「居場所事業」で「継承・発展させる」といいます。

しかし、居場所事業では、児童の事前登録が必要、おやつ無し、日曜は使えないなど、機能継承どころか大後退となるのが、私の徹底調査と22回にわたる議会質疑で浮き彫りになりました。

児童館は国のガイドラインで「子どもが自らの意思で一人でも利用することができる」「地域における子どものための拠点(館)」と定められています。

私は児童館廃止計画の撤回を求め、これからも全力を尽くします。

児童館や地域イベントでコマ回し昔遊びで地域貢献

私は小学6年間を児童館、学童クラブで過ごしました。その経験を活かし、現在は「杉並コマまわしの会」を立ち上げ、杉並区内で昔遊びを伝えるボランティアをしています。

各地域のイベントや児童館で開催される昔遊び大会やお餅つきにも「コマまわしのタクちゃん」として参加しています。

こうした児童館イベントは、町会・自治会、ゆうゆうクラブ、PTA、おやじの会の皆さんが支えています。児童館は世代を超えた繋がりを作るうえでも重要なのです。



みなさんと力を合わせ、 実現しました

- ・ 方南町駅のエレベータ設置
- ・ 私道整備助成予算を2倍へ
- ・ 3・11以降の区内放射線の測定、除染対策の拡充
- ・ 小中学校特別教室のクーラー設置
- ・ 高円寺南3丁目防災公園設置
- ・ 高円寺南5丁目防衛省宿舍跡地に特養ホーム設置
- ・ 認可保育園、介護施設の整備倍増
- ・ 感震ブレーク設置助成実現
- ・ ブロック塀改修助成実現
- ・ 区長の公用車問題を追及し、23区初の使用基準策定
- ・ 区の申請書類の不要な男女の記入欄を廃止
- ・ 区職員へのLGBTに関する研修を実現

道路補修・手すり設置

区内を歩くと、歩道の段差、車道の穴ぼこ、手すりのない階段などがいっぱい。お年寄りや子ども達が安心して歩けるように、常に目を配っています。

区と交渉し、手すりを付けた遊歩道の階段



雨水桝の段差、区へ要請し解消



私たちと同じ目線の富田さんを応援します

富田さんは良い意味で議員っぽくなくて、私たちと同じ目線を持っていてくれる方だと思います。区民の目線からかけ離れた政策に疑問を投げかけてくれることを期待して、私は富田さんを応援します！ 三児の父・さとう（堀ノ内在住）

住民によりそって活動

たくちゃんは、困った人に常に寄り添える人です。日頃から住民の生活相談に熱心に取り組み、朝でも夜でも直ぐにかけつけます。しっかりと時間をかけて話を聞き、その人のために全力を尽くしてくれます。僕もたくちゃんと相談に同行し、そんな姿を何度も何度も見てきました。

高円寺小中一貫校の建設には問題があるのではないかと住民から相談を受けたときも、議会で徹底的に杉並区を追及し、通う子どものことを全く考えていない計画であることを浮き彫りにしてくれました。

たくちゃんのように、住民に寄り添って活動してくれる区議が絶対に必要です。

杉並総合法律事務所
弁護士 三浦佑哉



区民のくらしを守るために

徹底した調査・分析で 行政のウソとごまかしを追及

国政での統計不正と同様に、杉並区政でもウソとごまかしが。区政を区民の手に取り戻すために徹底追及!!

施設削減の「根拠」 のウソ暴く!

区は児童館全館廃止や施設削減の根拠として、新たな人口推計データを使い急激な少子高齢化・人口減少を強調しました。

しかし、私の徹底調査でこのデータが区内の実態と全く異なることが明らかに。

私は議会でデータの間違いを告発。区民を欺く誇張宣伝は止めるよう徹底追及。区はデータの間違いを否定できず、後に推計データを作り直す結果となりました。

高円寺学園の開校延期は区の手続きミス! 責任を住民に押し付けた 行政のウソを暴く

高円寺小中一貫校の建設工事が遅れ、開校時期が2019年4月から2020年4月に延期となりました。杉並区は住民による「工事妨害」が原因だと保護者に説明しています。

しかし、私の調査で、区が行った東京都への建築許可申請に大量の不備があり申請が遅れ、建築許可がおりてからプール解体を行うよう区が工事業者に指示していたことが判明。

自らの失策の責任を住民になすりつけた杉並区のウソを暴いた私の議会追及が、雑誌「週刊金曜日」に取り上げられました。



雑誌「週刊金曜日」
2018年3月23日 (No.1177) 号に掲載。
(週刊金曜日編集部: 03-3221-8521)

くらしを守る条例提案で 提案者として答弁に立つ

私は区議団政調委員長として国保料減免条例、給食費助成条例の2つの条例案を作り、区議会に提案しました。

給食費助成条例では、本会議で条例内容の説明を行い、それぞれの条例が審議される委員会です。答弁者として、他会派からの質問に対して真摯に答弁しました。

この質疑により、他会派議員も条例案で実現をめざした負担軽減の必要性は否定できませんでした。しかし、自民、公明、立憲民主などの反対で、実現を阻まれてしまいました。

○**国保料減免条例（案）**…子どもが一人増えれば保険料が年額5万円以上も値上がりする国保料について、多子世帯の負担軽減に向けて3人目以降の子どもにかかる保険料を減免するもの。区議会でも2度の継続審議となり、区の国保運営協議会の臨時開催も実施され、問題提起としても重要な役割を果たしました。

○**給食費助成条例（案）**…学校給食が国の指針で教育の一環として位置づけられており、憲法の義務教育無償化の精神に照らせば、給食費も本来無償であるべきです。条例提案では無償化の第一歩として、年額年額5〜7万円の小中学校の給食費に対し、児童生徒一人当たり年額1万1千円の補助を出すもの。

今後の提案にも期待！

富田さんが他の会派の区議さんからの難解な質問に対して、条例の必要性を堂々と答えていたのは圧巻でした。今後も様々な条例提案に期待しています。

傍聴した K さん
(和田 1 丁目在住)

同性パートナーシップ 制度の提案に感動

区議会で初めてパートナーシップ制度のことを取り上げてくれたこと、とても心強いです。同性どうしのカップルは、「家族」「配偶者」と扱われないことで様々な困難に直面します。

パートナーシップ制度の設立ができれば、解決への大きな一歩になります。一人ひとりの様々な性のありかたが尊重される杉並の実現を期待しています。

代々木総合法律事務所
弁護士 水谷陽子



委員会で他会派の質問に対して答弁



本会議で条例提案

富田たくってこんな人

レントゲン技師の父から
科学的な見方を学び

看護師の母から

命の重さを学び

両親は札幌の総合病院に勤務し、帰りはいつも深夜。父が休みのときにザリガニ取りや化石掘りに連れて行ってもらうのが楽しみでした。そんな父との遊びを通して科学的な物事の見方を学びました。

また、自宅近くで交通事故があったとき、母は寝間着のまま飛び出し、けが人を介抱。救急車が来るまで抱き抱えていました。そんな母の姿から命の重さを学びました。

祖父の戦争体験から
平和の大切さを学ぶ

祖父は戦時中、ガダルカナル島への再上陸前夜に、B29の空爆で右腕を負傷し、マニラの野戦病院を経由し日本に帰国しました。

小学生の夏休みに祖父からこの話を聞いて「もし、おじいちゃんが戦争で死んでいたら、自分は生まれてこなかった……」と何とも言えない恐怖を感じたことを今でも覚えています。

この記憶が平和を守りたいとの思いの原点です。

日本共産党との出会い

大学時代に平和サークルに入り、広島・長崎で開かれる原水爆禁止世界大会に参加してきました。そこで核兵器廃絶への思いを強めるとともに、国内外の様々な団体と連携して核廃絶に取り組んでいる日本共産党の活動に興味をもち、サークルの友人からの誘いもあって大学時代に入党しました。



髭の鬼軍曹と呼ばれた祖父



祖父母と父、姉と旭岳にて



母と姉と



一度泣き出すと止まらない

区民のために働く タクちゃんを応援

富田たくさんとはいつ頃からの知り合いかわからないけれど、いつの間にか猫のようにスリスリ近寄ってきて足下に絡みつき長い付き合いのようになっている。

たまに東京へ出かけると区議会議員とは思えないほど「はいはい」と集合場所にやってくるフットワークの軽さ。

きっと議会活動も困っている人がいれば真夜中でも飛んでいくに違いない。理不尽な政府の沖縄に対する態度に声を上げるタクちゃん、区民のために働くタクちゃん応援しています。



東村議会議員
伊佐真次
(沖縄高江在住)

公正な社会のために 献身的なタク

私はタクの活動に何度も接し、子どもや若者にとって魅力的で一緒にいて楽しい存在である姿を見てきました。コマ回しを通して子どもにも親にも楽しさを届けています。

彼は平和、社会正義、環境など深刻な政治課題に取り組みつつ、謙虚さを失わず地に足をつけ、楽しいことも大好きです。

平和で公正な社会を実現するため献身的に取り組む彼のような政治家を、私達はサポートし続けなければなりません。

原水爆禁止世界大会で
出会って以来のつながり



非核フィリピン連合
弁護士 コラソン・ファブロス

折り紙のバラの花

持ち前の器用さを活かし、難易度の高い折り紙にも挑戦しています。得意な折り紙はバラの花。高齢者の折り紙の会などでバラの花の折り方を教えたりもしています。



都心に住む私たちが環境問題や生物の多様性について学ぶべきと思い、区内で出会った生き物を区政報告で紹介しています。
紹介数は現在90種類をこえました。



ヤマトシジミ



ニホシスツポシ



高円寺中のクスノキ



区政報告のバックナンバーは
HPでご覧いただけます。

<http://tomitataku.jp/>

杉並から生物多様性の保全を



東京メトロ方南町駅 エレベーター設置



ベビーカーおろす
ジャーさんと

「エレベーター早期設置を求める署名」を方南町交差点で地域のみなさんを取り組み、のべ16回にわたる東京メトロ本社との直接交渉を経て、2017年12月に完成。地域のみなさんの声が、安心・安全のまちづくりを前進させました。

みなさんの声を、これからも区政へ 富田たくのお約束

- 国保料、介護保険料の引き下げ
- 児童館、ゆうゆう館の廃止を許さず拡充を
- 学童クラブの民営化ストップ、大規模化を許さず質の向上を
- 区立施設使用料の引き下げ
- 特養ホームの増設、グループホームへの家賃助成を
- 認可保育園の増設と保育の質確保へ、区立保育園の存続
- 障害種別のグループホームの増設、移動支援の拡充、就労支援
- 学校給食の無償化、就学援助の拡充
- 学校体育館へのエアコン設置、トイレの洋式化促進
- 商店街支援とともに個店支援、公契約条例の制定
- 100ミリ豪雨に対応できる水害対策、耐震、耐火改修への支援拡充
- 性的マイノリティ支援、同性パートナーシップ制度の実施を

富田たくプロフィール

◆1976年札幌生まれ◆東海大学理学部化学科卒業後、10年間証券会社のシステムエンジニアとして従事◆2015年、杉並区議会議員選挙で2期目の当選◆「福島子ども保養プロジェクト」に立ち上げ当初から参加◆趣味：いきもの観察、折り紙、ボウリング、スキー、卓球

お困りごとはお気軽にご相談ください。☎090-9001-5249

富田たく

